



横浜市民
ギャラリー
あざみ野
Yokohama
Civic Art Gallery Azamino

アート あざみ野

横浜市民ギャラリーあざみ野情報誌 2026.01-04

vol. 72



上原沙也加「緑の日々」

企画展

あざみ野フォト・アニュアル2026

上原沙也加

「たとえすべての瓦礫が
跡形もなくきれいに片付けられたとしても」
＋横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展

2026.1.24(土) → 2.22(日)

あざみ野フォト・アニュアル2026



2026/1/24(土)～2/22(日)

🕒11:00～18:00 🗓️1/26(月)

上原沙也加 「たとえすべての瓦礫が 跡形もなくきれいに片付けられたとしても」

Uehara Sayaka: Even If All the Ruins Were Swept Away without a Trace

📍展示室1 💎一般500円 20歳未満および学生・65歳以上無料

助成: **NOMURA 野村財団** 協力: MISA SHIN GALLERY

※各種障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料(ミライID可) ※2/7(土)・8(日)は無料開放日(オープンデー)につき入場無料

現代の写真表現を紹介する企画展では、注目の若手写真家、上原沙也加による公立ギャラリー初の個展を開催します。本展では、2016年から2022年にかけて沖縄島で撮影されたシリーズ「眠る木」を皮切りに、2023年から取り組みはじめた台湾に取材したモノクロのシリーズ「緑の部屋」(「幽霊たちの庭」「花売りのおばあさん」「アメリカの村」「平和の島」)とカラーのシリーズ「緑の日々」とともに、沖縄島を捉えた最新作「前の浜」を展示します。上原の写真を通して、ここではない場所や過去と未来を想像する機会となることを願っています。

作家プロフィール

上原沙也加
(うえはら・さやか)



1993年沖縄県生まれ。写真家。主な受賞に、第36回写真の町東川賞新人作家賞(2020)、「VOCA展 2024 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」VOCA奨励賞、大原美術館賞(2024)、出版物に『眠る木』(赤々舎、2022)がある。風景のなかに立ち現れる記憶や傷跡、場所や物が保持している時間の層を捉える実践として、写真作品を制作している。現在、沖縄県在住。



1.「眠る木」
2.「緑の部屋」



1

2

会期中はアーティストトークや長島有里枝氏(写真家)との対談、担当学芸員によるギャラリートークを開催します。詳細は展覧会ウェブサイトをご確認ください。

ミニギャラリーのご案内

1階ロビー等のオープンスペースでは、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションや、新進作家、障がいのあるアーティストの作品をご紹介します。

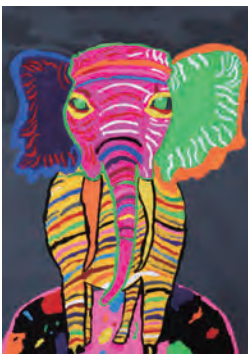


Photo: Ken Kato

Fellow Art Gallery vol.57 風香 展

12/21(日)～3/8(日) 📍2階ラウンジ

奈良県にある「たんぼの家アートセンター HANA」で活動している風香(ふうか)による、自身の暮らしの中の様々なものを描いたユーモア溢れる作品をお楽しみください。



《ぞうがちぎゅうをふみつける》
2024年
アクリル、キャンバス

横浜市民ギャラリーあざみ野のシリーズ展「あざみ野フォト・アニュアル」では、写真表現の現在を切りとる企画展と横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展を同時開催しています。

開館20周年記念 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展

Mr. ネイラーの驚異の部屋

📍展示室2 💎無料



1



2



3



4

- 1.『自然の鉛筆』/ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット/1844～46年
- 2.ボストン消防局長ウィリアム・バーニコートの肖像/ジョン・アダムス・ホイップル/1848年頃/ダゲレオタイプ
- 3.一眼レフレックスカメラ/制作者・制作年不詳/陶
- 4.ライカ・ラクサス/エルンスト・ライツ・ゲーエムペーハー/1930年

横浜市民ギャラリーあざみ野が開館20周年を迎えた今年度は、コレクションそのものの魅力を掘り下げる展覧会をお届けします。

横浜は日本における写真発祥の地の一つとして、日本の近代写真文化に貢献したと言われています。横浜市はこの歴史を踏まえ、平成5・6年にアメリカの蒐集家サーマン・F・ネイラー氏が世界各地から蒐集した12,000件のコレクションを取得しました。

エンジニアから実業家へと転じたネイラー氏によって集められた本コレクションは、世界のカメラ・写真の歴史がたどれるとともに、写真技術と表現の関係性を示す資料や、写真文化が各時代の人々にどのように受け入れられていったかを伝える資料が含まれるなど、独自の視点が見られます。ネイラー氏が自邸に構えていたプライベート・ミュージアムには、写真にまつわるあらゆるものがまるで15世紀の博物陳列室「驚異の部屋」のように所狭しと並べられていました。そこに通底するのは「もっと写真を楽しみたい」という蒐集家のあくなき好奇心です。展覧会では、貴重資料やユニークな収蔵品、関連資料を通じてコレクションの特徴や歴史をひもときます。また、当館がこれまで行ってきたコレクションに関する取り組みや研究成果、修復についても合わせてご紹介します。

Showcase Gallery 濱田晋 展

1/10(土)～3/15(日) 📍1階ロビー他

写真や立体、印刷物などの表現を行き来しながら、効率や機能を優先する社会の仕組みに、ちょっとした“ズレ”を持ち込む作品が館内に点在します。



Gallery in the Lobby

まるい、ながい、おおきい、ちいさい、
いろいろな規格のフィルムとカメラ

2/28(土)～3/22(日) 📍1階ロビー

横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの小展示今年度最終回は、フィルムの種類をテーマにした展示を行います。本展ではカメラの発展と歩を合わせて作られてきた多彩なフィルムと、それぞれのフィルム用のカメラを展示します。

横浜市所蔵カメラ・
写真コレクションの詳細は8ページに！

子どもから大人までを対象にした講座やワークショップを開催しています。
子どもには「やってみたい!」という気持ちを育む体験を、
大人には、創作体験や、アートと社会をつなぎ共に思索するプログラム等をご用意しています。

ピックアップ



ラーニングプログラム

ショーケースギャラリー 濱田晋展 関連ワークショップ
HAMADA ARCHITECTS™プロトタイプをつくる

2/8・15(日) 全2回 申込開始:12/19(金)10:00～(先着順)

端材などを使って、小さな模型を制作するワークショップです。制作の最後には、作品をパッケージ化して仕上げます。ゆるやかに話ししながら、手を動かすうちに、社会の見え方が少しだけ変わってくるかもしれません。また、ワークショップの記録や参加者のみなさんの関心を集めたZINEを、一緒に制作してお渡します。

【講座内容】(予定) 1日目:プロトタイプ制作 2日目:プロトタイプ制作の続き、ZINEづくり
【備考】 ZINE(ジン)とは、個人で制作する小冊子のことです。写真やイラスト、文字などを組み合わせて、テーマも形式も自由に表現することができる媒体です。
🕒13:00～15:00 👤12歳以上 8名 💰4,500円(全2回分、材料費込) 🗣️濱田晋(写真家)

講座の申込方法

- ①各講座ホームページの申込フォームからお申込み ②直接来館してのお申込み(一部講座のみ)
・お預かりした個人情報は横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理します。

子どものためのプログラム

事前予約不要!ドロッピンワークショップ
この材料で、なにができる? 材料「カラフルなシール」

1/18(日) 予約不要、時間内出入り自由

材料の特徴を手がかりに、子どもも大人も一緒につくって、あそべる造形プログラムシリーズです。今回は「カラフルなシール」を主な材料として使います。カラフルなシールは形も様々、どんなものができるかたくさん試してつくってみましょう。

- 🕒10:30～14:30
👤どなたでも ※未就学児は保護者付き添い必須 材料がなくなり次第終了
💰4歳以上1人500円



この材料で、なにができる? 材料「マスキングテープ」の様子

講座・イベント情報

子どものためのプログラム

対象	プログラム名	開催日	時間	参加費	定員	申込開始日
小学1～3年生	👤 木のはんこでかたちをかこう	3/8(日)	14:00～16:00	1,600円	16名	2/15(日)
小学3～6年生	👤 クレイアニメをつくろう	2/21(土)	14:00～16:00	1,600円	18名	12/21(日)
どなたでも ※未就学児は保護者付き添い必須	👤 この材料で、なにができる? 材料「カラフルなシール」	1/18(日)	10:30～14:30	4歳以上 1人500円	材料がなくなり次第終了	予約不要

ラーニングプログラム

対象	プログラム名	開催日	時間	参加費	定員	申込開始日
12歳以上	👤 着衣・クロッキーD	1/17・24(土)	18:00～20:30 ※初回のみ17:45～	3,400円(全2回分)	20名程度	12/17(水)
	🗣️ アートライティング実践	1/28、2/4(水)	18:30～20:30	3,000円(全2回分)	6名	12/17(水)
	🗣️👤 HAMADA ARCHITECTS™ プロトタイプをつくる	2/8・15(日)	13:00～15:00	4,500円(全2回分)	8名	12/19(金)
15歳以上(中学生を除く)	👤 ヌード・クロッキーD	2/20・27(金)	18:00～20:30 ※初回のみ17:45～	3,600円(全2回分)	20名程度	1/20(火)

毎月開催のプログラム

対象	プログラム名	開催日	時間	参加費	定員	申込開始日
小学生以下の子どもとその保護者	👤 親子のフリーゾーン	月2～3回開催(詳細はHP)	10:00～11:30	1人200円	30組程度(1組5名まで)	各開催日の前月25～30日頃
個別支援学級、特別支援学校等に 通う子どもとその保護者、 きょうだい、お友だち	👤 障がいのある子どもたちのための 親子で造形ピクニック	月1回、 土曜開催(詳細はHP)	10:00～12:00	4歳以上の子ども 1人100円	10組程度(1組5名まで)	各開催日の1カ月前

講座内容の詳細は、当館ホームページやチラシでご確認ください。受付は全て先着、10:00申込開始です。

休館日（毎月第4月曜及び年末年始）：12月29日（月）～1月3日（土）、1月26日（月）、2月23日（月・祝）、3月23日（月）、4月27日（月）
あざみ野 横浜市民ギャラリーあざみ野主催事業 料金の記載のないものは入場無料の展覧会です。

🕒 時間 🕒 初日の開場時間 🕒 最終日の閉場時間 🏠 休館日 💰 料金

詳しい情報は
こちら！



1・2月

第68回「明日への手」美術展

1/11(日)・12(月・祝)、1/17(土)・18(日) 展示室1・2階

神奈川県美術教室の子どもたちの作品を展示、約1,000点。

🕒 1/11(日)・17(土)10:00～16:00
1/12(月・祝)・18(日)10:00～15:00
主催：NPO法人ARTKIDS.JP
https://www.geijyutuniyoru.com

あざみ野 あざみ野フォト・アニュアル2026

上原沙也加「たとえすべての瓦礫が跡形もなくきれいに片付けられたとしても」

1/24(土)～2/22(日) 展示室1階

🕒 11:00～18:00 🕒 11:00 🕒 18:00 🏠 1/26(月)
💰 一般500円(20歳未満および学生・65歳以上無料)
主催：横浜市民ギャラリーあざみ野
詳細は2ページ「展覧会のご案内」をご覧ください。

あざみ野 あざみ野フォト・アニュアル2026

横浜市内蔵カメラ・写真コレクション展

Mr.ネイラーの驚異の部屋

1/24(土)～2/22(日) 展示室2階

🕒 11:00～18:00 🕒 11:00 🕒 18:00 🏠 1/26(月)
主催：横浜市民ギャラリーあざみ野
詳細は3ページ「展覧会のご案内」をご覧ください。

3月

東京総合写真専門学校

第66回卒業制作展・研究科展

3/4(水)～3/9(月) 展示室1・2階

写真・映像表現による多彩な作品を展示。約500点。
🕒 10:00～18:00 🕒 10:00 🕒 16:00
主催：東京総合写真専門学校
https://tcp.ac.jp

「水陽・明水会展」「水陽・ION会展」合同展

3/10(火)～3/16(月) 展示室1・2階

四季折々の風景や静物を透明水彩で描く作品、約300点。
🕒 10:00～17:00 🕒 13:00 🕒 16:00
主催：水陽・青葉会合同展事務局

「水陽・青葉会展」合同展

3/17(火)～3/22(日) 展示室1階

四季折々の風景や静物を透明水彩で描く作品、約300点。
🕒 10:00～17:00 🕒 13:00 🕒 16:00
主催：水陽・青葉会合同展事務局

横浜美術大学

生涯学習公開講座受講者作品展

3/18(水)～3/22(日) 展示室2階・A

横浜美術大学生涯学習公開講座受講生の作品展示、約70点。
🕒 10:00～17:00 🕒 10:00 🕒 15:00
主催：横浜美術大学
https://www.yokohama-art.ac.jp/society

横浜あおば 玉田ガラス工房展

3/19(木)～3/22(日) 展示室2階・B

吹きガラス技法で制作した作品の展示、約100点。
🕒 10:00～17:00 🕒 10:00 🕒 16:00
主催：横浜あおば 玉田ガラス工房
https://glass-flow.com/

第14回 横浜画塾展～水のカ～

3/24(火)～3/30(月) 展示室1・2階

水彩画(風景・花・人)塾生2年間の集大成。300点以上。
🕒 10:00～18:00 🕒 14:00 🕒 16:00
主催：横浜画塾

4月

第12回 森村学園中等部美術部展覧会

4/1(水)～4/6(月) 展示室1階

個性あふれる多彩な作品群と共同作品を展示、100点以上。
🕒 10:00～18:00 🕒 10:00 🕒 15:00
主催：森村学園中等部美術部
https://morimura.ac.jp/jsh/

花の三重奏

4/1(水)～4/5(日) 展示室2階・A

押し花で奏でるそれぞれの世界、約60点。
🕒 10:00～17:00 🕒 10:00 🕒 17:00
主催：押し花大好き

白首北面～望月雅文・喜寿の陶芸展

4/3(金)～4/5(日) 展示室2階・B

美術展受賞作他、多彩な陶芸作品を展示。約200点。
🕒 10:00～17:00 🕒 10:00 🕒 17:00
主催：喜寿の陶芸展実行委員会

蒼騎会 第8回 神奈川支部絵画展

4/8(水)～4/12(日) 展示室1階・A

蒼騎会・神奈川支部会員会友の絵画を中心に展示、約40点。
🕒 10:00～17:00 🕒 10:00 🕒 13:00
主催：蒼騎会神奈川支部
http://www.sokikai.com

泉会・色鉛筆画作品展

4/7(火)～4/13(月) 展示室1階・B

色鉛筆画会会の会員による合同作品展。約80点。
🕒 10:00～16:00 🕒 13:00 🕒 15:00
主催：泉会

アートユニオン青葉合同写真展

4/14(火)～4/20(月) 展示室1・2階

地元で活動するフォト4団体による合同写真展、約240点。
🕒 10:00～17:00 🕒 13:00 🕒 16:00
主催：アートユニオン青葉

第36回 レ・コピヌ絵画展

4/21(火)～4/26(日) 展示室1階・B

第36回を迎えるレ・コピヌの油絵作品展、約30点。
🕒 10:00～17:00 🕒 13:00 🕒 16:00
主催：レ・コピヌ

催事内容、時間などが変更もしくは中止になる場合があります。最新情報は当館ホームページや記載団体URLでご確認ください。

過去の展覧会やイベント情報を 詳しくご覧いただけます！



アーカイブはこちらから！
https://artazamino.jp/archives



「Window Painting」シリーズより
2022-2023年



山元南徳「オクトボリス」2025年／
アニメーション(6分42秒)

one-dayショップのご案内

あざみ野フェローマルシェ

障がい者福祉施設などで作られた美味しい食べ物やオリジナル雑貨を販売する
日にち限定のマルシェです。

1/17(土)・18(日)

🕒 各日10:30～14:30
※商品がなくなり次第終了
📍 1階エントランスロビー
※11:00～13:00は
比較的混み合うことが
予想されます。



まんなかのパン屋さん

からだにやさしい、おいしい、たのしい、
焼きたてパンの販売！

第2・第4水曜 および 第3金曜販売(不定期)

🕒 各日11:40頃～売切れ次第終了
📍 1階エントランスロビー
📍 出店「陽だまり」、「しろくまのパン屋さん」



アートプラザのお弁当屋さん

地元の旬野菜を使った手づくり弁当や、
グルテンフリー＆オーガニックな
ベークルスンドなどのキッチンカーが登場！

日曜販売(不定期)

🕒 各日11:00頃～売切れ次第終了
📍 アートプラザ(正面玄関付近)
📍 出店「コマデリ」、「ソバ・イ・ヴィダ」



※画像は一例です。
詳しい日程や出店情報は
ホームページをご覧ください。



「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」って？

横浜は歴史上、写真と深い関わりが深い都市であることをご存じでしょうか？西洋で発明された写真が日本に伝わったのは幕末のことです。横浜では1860年代から外国人居留地を中心に次々と写真館が開業し、日本における写真発祥の地の一つとして、近代日本の写真映像文化の歴史に大きく貢献したと言われています。横浜市ではこうした歴史を踏まえ、アメリカの実業家、サーマン・F・ネイラー氏が40年にわたって世界各地から収集したカメラ・写真・関連資料約12000件のコレクションを1993・4年に取得しました。世界のカメラと写真の歴史が総合的にたどれるこのコレクションを、横浜市民ギャラリーあざみ野で収蔵しています。今年度のコレクション展(3ページ)では、コレクションそのものの魅力にフォーカスします。

1. 鏡を見る女／制作者・制作年不詳／鶏卵紙
2. 東京名所四十八景 柳原写真所三階よりお茶の水遠景／昇斎一景／1871年



幕末～明治期の写真館では、訪日した外国人のお土産用に日本の文化や風景を写した写真が数多く販売されました。こうした土産物写真は横浜で発展したため「横浜写真」と呼ばれます。



収蔵品
データベース

ピックアップ

写真家を使用したカメラや写真技術開発者の関連資料など、このコレクションでしか見られないものがあります。



20世紀を代表するグラフィック誌『ライフ』の創刊号と、その表紙をかざった写真家マーガレット・パーク＝ホワイトが使用した一眼レフカメラ。



1935年に世界で最初の実用的なカラーフィルム「コダクローム」を開発したレオポルド・ゴドウスキーとレオポルド・マンネスの関連資料。



1. ソホ・トロピカル・レフレックス／ソホ・リミテッド／1935年ソホ・トロピカル・レフレックス／ソホ・リミテッド／1935年
2. 『ライフ』1936年11月23日号(創刊号)／タイム・インコーポレイテッド出版／1936年頃
3. 16mmカラーフィルム"1935-カンヌ"(レオポルド・ゴドウスキー旧蔵)
4. レオポルド・ゴドウスキーとレオポルド・マンネス／制作者・制作年不詳／ゼラチンシルバー・プリント

What's New

横浜市民ギャラリーあざみ野が開館20周年を迎えた今年度、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションについても新たな取り組みを行っています。



パネル展示
次回は2026年
3月10日(火)～



パンフレット
日本語版／英語版を
館内で配布中！



横浜市所蔵
カメラ・写真コレクションの
キャラクターが誕生！

Instagramの専用アカウントで
収蔵品をご紹介します！



横浜市所蔵カメラ・写真コレクション Pick Up

vol.

67

ディアブラリー

写真の中で、悪魔たちが盃を手に、宴会を繰り広げています。楽器を演奏しているガイコツもいて、楽しそうな雰囲気伝わって来ます。下部には「地獄の宴(Un Banquet Infernal)」の文字が焼きこまれています。

これは、19世紀にフランスで制作された「ディアブラリー(Diableries、悪魔画)」というステレオ(立体)写真シリーズの一枚です。彫刻家アルフレッド・アペール(Alfred Habert, 1824-1893)による彫刻を撮影したもので、少し異なる位置から撮影した2枚の写真を専用のビューワで立体視します。写真は薄い紙にプリントされていて、手前から光を当てるとモノクロのイメージが、後ろから光を当てると裏の彩色を透過してカラーのイメージが見えます。ガイコツの眼に開けられた孔から光が透過して、赤く光っているように演出がほどこされています。

悪魔やガイコツは、度重なる政変やコレラの流行により混乱のさなかにあった19世紀のフランスで、風刺画等にたびたび登場する人気のモチーフでした。「ディアブラリー」には他にも地獄のカーニバル、戦争、カフェ、悪魔の結婚や病気など、様々なテーマのものがつくられました。おどろおどろしい地獄のイメージをユーモラスに描く一方で、当時のルイ・ナポレオン(フランス皇帝ナポレオン3世)の治世を風刺した表現も見られます。「地獄の宴」も普仏戦争のフランスの敗北を受けて、戦勝を祝う悪魔を描いたものと言われています。



1. 《66. 地獄の宴》「ディアブラリー」より／アドルフ・ブロック出版／1873年／鶏卵紙、手彩色
2. 1に裏から光を当てたところ



横浜美術館・横浜市民ギャラリーからのお知らせ

横浜美術館

横浜美術館リニューアルオープン記念展

「いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年」

地理的にも文化的にも近い他者として、長い歴史を歩んできた日本と韓国。日韓国交正常化から60年となる節目に合わせ、韓国の国立現代美術館との共同企画により、1945年以降の日韓美術の関係史を、二国間の接点や断絶、共通点と差異から考察し、ひも解きます。

12/6(土)～3/22(日)

🕒10:00～18:00(入館は閉館の30分前まで) 🗓木曜日、12/29(月)～1/3(土)
🎫一般2,000円／大学生1,600円／中学・高校生1000円／小学生以下無料／ペア券(一般2枚)3600円 ※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

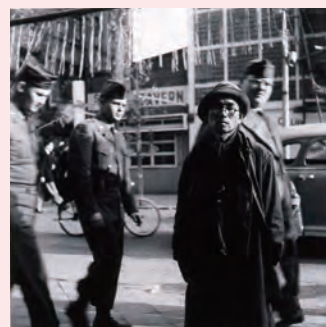


お問合せ

〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1 TEL:045-221-0300 FAX:045-221-0317
ホームページ: <https://yokohama.art.museum/>



横浜市民ギャラリー



横浜市民ギャラリーコレクション展2026 戦後をあゆむ

戦後80年をテーマに、戦時下の様子、戦後の社会について読み解くことができる作品約60点をご紹介します。画家、写真家、漫画家たちが戦争、社会、人々の営みをどのようにみつめ、表現してきたのかを探ります。

2/20(金)～3/8(日)

🕒10:00～18:00(入場は17:30まで) 🗓会期中無休
📍横浜市民ギャラリー 展示室1、B1 🎫入場無料

奥村泰宏《帰還兵とGI》
1950年／ゼラチン・シルバー・プリント／33.7×33.6cm

お問合せ

〒220-0031 横浜西区宮崎町26-1
TEL:045-315-2828 FAX:045-315-3033 ホームページ: <https://ycag.yafjp.org/>





Eat & Smile

Cafe / Shop / Order Cakes

季節の食材を使ったスイーツやお食事をご用意してお待ちしております。スイーツやお食事のテイクアウト、世界に一つのオーダーケーキのご注文も承っております。



Here!

営業時間 イートイン11:30～17:30 (17:00 LO)
テイクアウト11:30～18:00

定休日 水曜日、第1・第3日曜日(不定休あり)
横浜市青葉区あざみ野南1-16-8大谷ビル1B

TEL 045-509-1333

各種展覧会への搬入搬出・会場設営・梱包発送・海外展等

有限会社 アートン

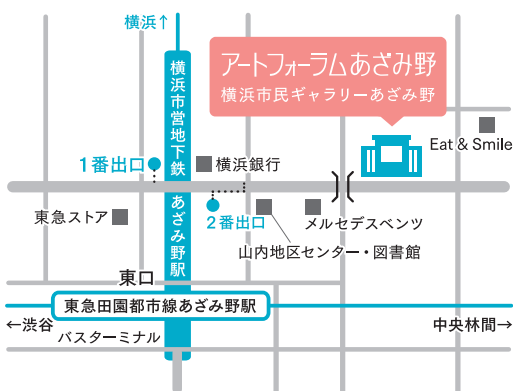
〒252-0821 神奈川県藤沢市用田 211-4

TEL: 0466-48-8488

Email arton.event@gmail.com

Web <https://www.arton.events>

額縁、キャンパス等割引価格にて販売中。詳しくは web で!



横浜市営地下鉄
「あざみ野」駅下車「1・2 番出口」から徒歩5分

東急田園都市線
「あざみ野」駅下車「東口」から徒歩5分
※駐車場は有料(23 台/予約不要)
※駅からのアクセスがご不安な方はご相談ください。
※アートフォーラムあざみ野は帰宅困難者一時滞在施設です。

展示室・アトリエを使ってみませんか?

横浜市民ギャラリーあざみ野では展示室とアトリエの貸出しを行っています。展示室で個展やグループ展を開催したり、アトリエで創作活動やレクチャーをしたりしてみませんか?

施設貸出についての詳細はこちらから

展示室 <https://artazamino.jp/gallery/about-gallery> **アトリエ** <https://artazamino.jp/atelier/about-atelier>




展示室 アトリエ

あざみ野メンバーズMAILNEWSのご案内

あざみ野メンバーズMAILNEWSでは月に1～2回、展覧会情報や各種講座のご案内など様々な情報をお届けします!

<https://artazamino.jp/mailnews>

ご登録は
こちらから



掲載している内容は2025年12月25日時点の情報です。
催事内容、時間などが変更もしくは中止になる場合がございます。最新情報はホームページ等でご確認ください。

横浜市民ギャラリーあざみ野

開館時間: 9:00-21:00 休館日: 毎月第4月曜日、年末年始
〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野内
TEL: 045-910-5656 FAX: 045-910-5674 <https://artazamino.jp/>

ホームページはこちら!

X, Instagram,
Facebookでも
情報公開中!



編集発行: 横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 発行日: 2025年12月30日
デザイン: 株式会社セルワールディング ©Yokohama Civic Art Gallery Azamino 2025